

スポーツ仲裁に関する申し合わせ

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

1. 趣旨

本申し合わせは、公益社団法人日本オリエンテーリング協会（以下「JOA」）が行った決定に対して会員、競技者、指導者、その他関連する団体、個人が不服申立を行った際に、紛争を迅速かつ円滑に解決するために、JOA がとる対応の基本方針を申し合わせるものである。

2. 基本方針

JOA がする決定に対する不服申立は、一般社団法人日本スポーツ仲裁機構の「スポーツ仲裁規則」に従ってなされるスポーツ仲裁により解決されるものとする。

3. 申し合わせの変更

本申し合わせは、理事会の決定により、変更または廃止等を行うことができる。

以 上

平成 25 年 3 月 3 日 理事会確認

第2回理事会議事録

1. 開催日 平成25年3月3日(日) (13:00-17:00)
2. 場所 大久保地域センター [東京都新宿区]
3. 出席者確認 理事総数 15名 出席12名、欠席3名、有効出席数12名
出席 山西哲郎、久保喜正、伊藤好信、齋藤宏顕、小野盛光、藤井範久、村越 真
木村佳司、平島俊次、信原 靖、船橋昭一、尾上俊雄
欠席 三上雅克、菅原 琢、仲尾勝利
同席 尾上秀雄監事
記録 高村卓
4. 議長 定款に従い、山西会長が議長となり開会した
5. 議事録署名人 定款に従い、山西会長、尾上秀雄監事を選任した。

1 報告事項

1. 業務執行理事会合について、村越理事より報告があった
12月18日、1月、2月13日の3回開催、うち12月と2月はスカイプを利用した。
多少のトラブルはあったが、会議として利用できることが確認できたと報告。
12月18日では、協会会計の運転資金、酒井さんの退職金の件、WMOC2016の件、ナビゲーションゲームズ、指導員の育成、森を走ろうシンポジウムについて討議。
1月12日では、群馬県で開催された全日本スプリント大会での公園であった問題についての告知文の決定、脅迫状の届いた東日本大会への対応、WMOC2016への立候補、次期理事候補について、財政再建、25年度の振興基金への申請、競技規則、
2月13日では、顧問の件、スキーOのSIAとの共催の件、事業予算と計画、理事会運営について、各討議を行ったことを報告。
2. スキーオリエンテーリングの集い共催について村越理事、信原理事より報告があった。
SIA(職業スキー指導者連盟)から、安比高原で開催されるスキーO大会の共催打診が来た。共催についてはスキーOの普及、岩手大・岩手県協会が絡んでおり、国体開催年には全日本大会が控えている等を鑑み(?)、名義共催で進めていく。
3. ナビゲーションゲームズ2013について木村理事から説明があった。
ロゲイニングをシリーズとして開催。最初8大会だったが、1大会追加となった。各大会は会員とコンタクトをとるよう指導している。3月2日には大島で第一戦がおこなわれた。この大会は東京都協会の後援をとっている。参加は200名。参加者一人100円がJOAに入る。(JOA支援イベントとしての収入となる)
4. 日本学生連盟との関係について、藤井理事から説明があった。
1月19日学連の幹事会に出席し、JOAの考えを伝えた。JOAへ加盟の呼びかけをしている。感触は良く、26年度以降の加盟を目指している。会員となった場合、登録費をどうするか。二重登録の状態では負担が大きい。登録費は学連経由となり、各会員に戻らないことを学生側は(?気にしている。
7日に幹事会があるので、JOAとしてのコメントを出したい。
5. 財政再建と活性化特別会議について、村越理事から報告があった
9月23日、2月2日の2回の諮問会議が開かれ、検討されたことを報告した。収入増のための方向性、大会開催システムの簡素化、登録者等のデータ化と見直し、クラブ登録、これからの中長期プランの素案などが報告された。
6. JOA旗の作成。高村事務局長から説明があった
現在、OL虫のついた旗しかなく、公益社団法人に替わったことを受け、JOAのロゴを入れた新しい旗の作成を提案した。費用、作成した後の保管方法等検討。全日本スキーO大会で間に合えば、北海道で作成するとの提案が信原理事からあったので、依頼することになった。
7. 傷害保険について、高村事務局長から説明があった。
北海道協会所属の山田氏より、新たな傷害保険の提案を頂き説明した。現行の傷害保険は全日本名称の大会のみ契約しているが、新たな提案は、JOAに申請してくる全ての大会に適用、保険対象にする。ただし、参加者のみの適用で、運営者が入っていないことが懸念された。今後も内容を精査し検討していくことになった。
8. 寄附金のガイドラインについて、船橋理事から説明があった。

昨年6月4日に公益移行後、免税募金の申請を行い、11月22日に認可がでたことにより、新たな寄附金案内を各位に流した。新制度に基づく寄附金募集のお願いをした。

9. その他

2月に開催された公園でのスプリントO大会にて、公園利用者に暴言を浴びせ、子供に怖い思いをさせた行為があったことが報告された。このような行為は、公園を私たちも使わせて戴くことを忘れた言語道断の行為であり、再発防止のための広報をJOAとして出すことにした。

渉外の問題等、大会等が中止となったことを踏まえ、会員からヒヤリハットを集め、今後の事故防止のために何らかのアピールをおこなうことで衆議一致した。

II 審議事項

1. 平成25年度事業計画書(案)・収支予算書(案)について

事務局より、25年度事業計画と予算案を説明し、質疑応答を行った。

事業計画書のうち、

2.1.1のa愛知県を愛知・岐阜県に修正。

2.1.2にaに2013GW日光村エンターリングの集い、平成25年5月4日、栃木県/山川YMOEを追加。

以下順に、b.c.dに修正。

2.1.3のaWMOC2016の誘致を、全文削除。

3.1.4 イタリアへの選手参加への協力を行うに修正。

3.2.1 WOCの後の西暦を削除、以下各項目で西暦削除。

3.3.2 3.4.2を参加選手の派遣を行う。に修正。

3.5.5 選手役員の先行を「選考」に修正。

3.8.4 RouteGadgetによる・・・の行を削除。

事業計画の修正と追加を行った。予算案についての修正等はなかった。

事業計画案と予算案を採決し、出席者数12名が賛成し可決した。

可決後、常設コースのガイドラインについて、JOAとして常設コースをどう捉えているか、どう進めているかが質問された。担当する普及教育委員会で検討するよう意見が出た。

2. 北海道協会長の堀井学氏の顧問就任の件

日体協の理事候補者推薦があり、衆議院議員である堀井学北海道協会長を推薦する案が出た。堀井氏と相談したが、いきなりの推薦はご遠慮したいと言われた。検討した結果、本協会の顧問になって頂き、次期の理事推薦に含みを持つことにした。定款に基づいて本協会の顧問に推薦した。

採決し出席者数12名が賛成し可決した。

なお、日体協の理事には、村越業務担当理事を推薦したことを報告した。

3. 規程類の改訂

- ① 社員総会運営規則
- ② 理事会運営規則
- ③ 理事選考規程
- ④ 理事の職務権限規程
- ⑤ 寄附金等取扱規程及び寄附金実施基準
- ⑥ 役員・職員倫理規程
- ⑦ 特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程
- ⑧ スポーツ仲裁申し合わせ
- ⑨ ドーピング防止規程
- ⑩ その他の規程
 - ・役員在任に関する規程、表彰規程、就業規則
 - ・旅費規程「理事」及び「職員」の廃案

以上の12項目の規程について検討戴き、理事選考規程、寄附金等取扱規程及び寄附金実施基準、スポーツ仲裁申し合わせ、ドーピング防止規程の各規程と、その他の規程について採決し出席者数12名が賛成し可決した。

残りの規程については、次回理事会に持ち越された。

以上

理事会 平成 25 年 3 月 3 日

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

議事録署名人 尾上秀雄

印

理事会議長 山西哲郎

印
